

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

市会議員
西野さち子です



国民の立場で

ゆきづまった政治を

大もとから改革!!

参議院選挙(7月)勝利へスタート集会 「新しい政治切り拓こう」2400人が参加

3月8日に参議院選挙のスタート集
会がみやこめっせで開かれ、2400
人の参加で会場は元気があふれました。
倉林明子参議院京都選挙区予定候補
と井上さとし参議員の人柄がよくわか
るコーナーは大好評。倉林予定候補は
「弱い者いじめの政治を許すわけには
いきません。定数2の京都選挙区で勝ち
抜きます」と元気に決意表明をしまし
た。井上参議員は「沖縄では全ての市
町村の首長が基地問題で政府に抗議し
た。京都の全ての市町村の首長が政府
に抗議する事態は想像できないが、沖
縄はそこまで来ている。これ以上ア×



日本共産党の躍進を誓って満場の拍手にこたえる(右から)穀田
国対委員長、倉林明子候補、井上哲士参院議員。

原子力災害対策編策定にあたっての 日本共産党市会議員団の提案

国会事故調査委員会が東京電力福島第
一原発事故を「人災」と断定しました。
その責任は、「安全神話」のもと原発を
推進してきた歴代自民党・公明党政権と、
無批判にそれを継承した民主党政権にあり
ました。復活した安倍自公政権も原発
推進の立場を強めています。

日本共産党市会議員団は、これまでも、
原発ゼロと京都市の原子力防災体制の確
立を求めてきました。今回発表された
「『京都市地域防災計画原子力災害対策
編』骨子」に対して次の項目で提案をし
ました。

1. 大飯原発の稼働停止、原発ゼロの政治
決断が不可欠
2. 「安全神話」を一掃し、「フクシマの教
訓」を生かし、市民の命と健康を守る
ことを最優先に①距離での線引きはや
め、京都市全域を原子力防災対策の対
象に、②放射能汚染の危険性を直視し
た災害想定に、③実害と風評被害につ
いて機械的な線引きをせず取り組む
べき、④ヨウ素剤の服用、⑤モニタリ
ング体制の強化
3. 原子力防災対策、原発ゼロを推進する
ための体制の確立を

2月15日に来年度予算案に対する
意見をお聞きする懇談会を開きました。
京都市の来年度予算案は、全会計の
総額1兆6788億円で、市債残高見
込みは1兆2600億円になり、過去
最高です。新聞でも報道されましたが、

市会議員団予算要求懇談会 値上げラッシュとムダ使い予算案

「リカいいなりの政治は許されない」と
訴えました。
消費税増税ストップ、平和憲法を守
る政治をつくるために、参議院選挙で
日本共産党を大きくのばしてください。
ご支援よろしくお願いします。

値上げラッシュ
と市民の財産の
切り売りが目白
押しです。市営
保育所の民間移
管など公的責任
を放棄する予算
になっていきます。
母子寡婦福祉資
金の滞納回収を「事業者」に委託し、
委託料を出来高にして強行に取り立て
させるなどの市民いじめも目立ちます。
その一方で焼却灰溶融施設の本格稼
働に向けて、3月初旬には試運転をす
る予定です。ガス代の値上げで運転経
費が年間24億円に膨れ上がっていま
す。ごみが減っている中、こんなムダ
使いこそやめて、水道料金の値上げを
中止すべきです。

